

# 子供でも簡単・花合わせ「いのしかちょう」ルール

幼稚園児や小学生でも楽しめる、花札を使った花合わせをご紹介します。  
3人で遊ぶの花合わせですが、子供向けにルールをシンプルにしています。



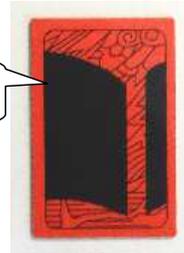
猪・鹿・蝶・・・  
この3枚セットを狙おう！

### 【いのしかちょうルールの特徴】

- ・「猪・鹿・蝶」を最上位の役として、見た目だけで分かりやすく覚えるのが簡単な役に絞っています。  
※他に「赤短（赤丹）」「青短（青丹）」「藤いっぱい」「桐いっぱい」「月見で一杯」「花見で一杯」に限定  
高得点カードを使う役は入れないことで、一発逆転の要素を高めています。
- ・カス札は0点にして、点数計算もシンプルにしています。

かと言ってジョーカーのような「鬼」を使った  
エキサイティングなルールもあります

食っちゃうぞ！



慣れてくれば、役を追加したり、変えてみたりして楽しんでください！

製作：レポートステーション  
<https://dsstation.sakura.ne.jp>

## 花札一覧

同じ月（同じ花）のカードを覚えておきましょう！  
点数は絵柄があると20点または10点、短冊は5点、その他は0点です

							ぼうず						あめ
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
まつ	うめ	さくら	ふじ	あやめ	ほたん	はぎ	すすき	きく	もみじ	やなぎ	きり		
松	梅	桜	藤	菖蒲	牡丹	萩	芒	菊	紅葉	柳	桐		

鬼

同じ月（同じ種類・同じ花）のカードを覚えておきましょう。  
11月だけは少し違いますので、ご注意ください！！

# 子供でも簡単・花合わせ「いのしかちょう」ルール説明①

3

## <遊ぶ人数>

- 3人で遊びます（順番はじゃんけんなど、適宜決めましょう）

## <最初の配り方> カード(札)はシャッフルして配ります。どのカードが、場・手に配られるかは分かりません。

- 場は6枚（みんなが見える状態にする）
- 手は7枚（自分だけ見ます。ほかに人には見せません）
- 残りのカードは積んでおきます（山）

## <基本のルール>

- 1人、2回の違う「花合わせ」をします。  
1回目は、自分の「手」のカードと、「場」のカードとの花合わせ  
2回目は、「山」からめくったカードと、「場」のカードとの花合わせ

### <花合わせ 1>

#### 「手のカード」と「場のカード」との花合わせ

- ・自分の「手」のカードと、「場」のカードの絵合わせをします。
- ・同じ種類（同じ花）のカードが場にある場合、2枚をくっつけます。
- ・そして、くっつけた2枚とも自分が持って帰ります。

#### <もしも> 「手」のカードと同じ種類（同じ花）のカードが、「場」にない場合（合わせられない場合）

⇒その場合、「手」のカードを1枚選んで「場」に捨てます。みんなに見える状態で置きます。捨てたカードは「場」のカードになります。  
※この場合、合わせるカードが無いので、捨てるだけです。ゲットできるカードはありません。残念！

### <花合わせ 2>

#### 「山からひいた1枚」と「場のカード」との花合わせ

- ・「山」から1枚めくります。
- ・めくったカードと、同じ種類（同じ花）のカードがある場合、2枚をくっつけます。
- ・そして、くっつけた2枚とも自分が持って帰ります。

#### <もしも> 「山からめくったカード」と同じ種類（同じ花）のカードが、「場」にない場合（合わせられない場合）

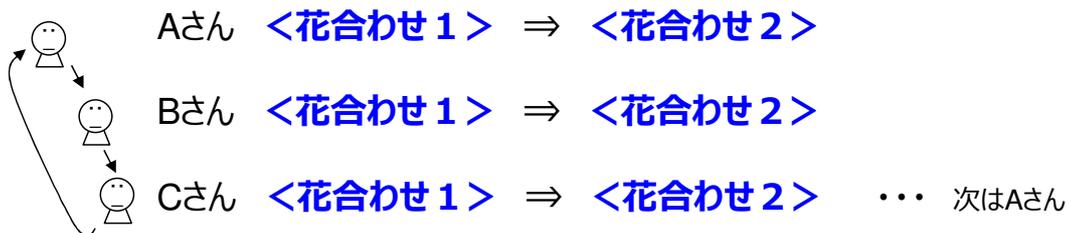
⇒その場合、「山からめくったカード」を「場」に捨てます。みんなに見える状態で置きます。「場」のカードになります。  
※この場合、合わせるカードが無いので、捨てるだけです。ゲットできるカードはありません。残念！

# 子供でも簡単・花合わせ「いのしかちょう」ルール説明②

4

## <遊びの流れ>

- ゲームの進め方



※7枚あった「手のカード」が無くなる（7回繰り返す）と終了です。

## <持って帰ったカードに（取得した札）について>

- **持って帰ったカードの組み合わせで「役」ができます。**
- 持って帰ったカード他の人から「見える」ように置いておきます。最後に点数を計算して、勝敗を決めます。（持って帰ったカードは、もう使えません）

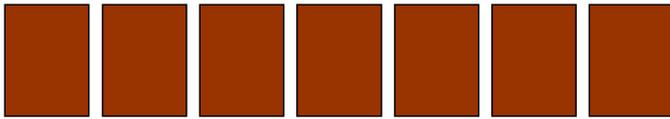
※ゲームが終了したら、「役」を確認します。「役」が出来ている場合は、点数が他の人からそれぞれもらえます。勝敗は点数で決めます。

最初の配り方

5

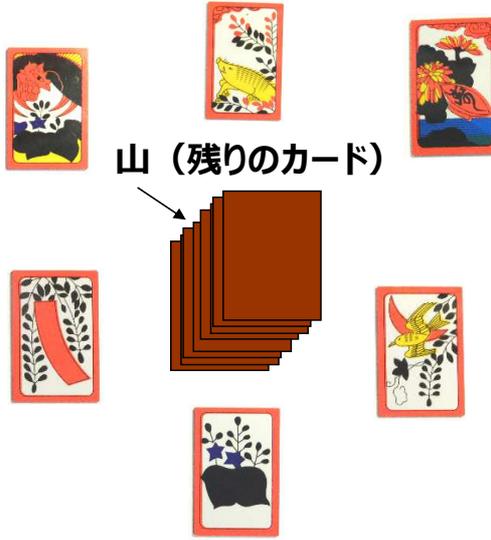


手 7枚 (他の人には見せない)



場 6枚  
(みんな見える)

シャッフルするので  
手・場のカードは  
毎回違います



山 (残りのカード)

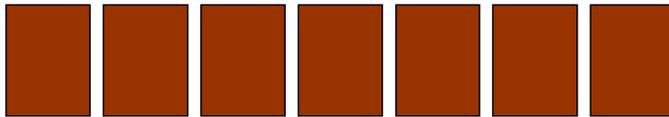


手 7枚  
(他の人には  
見せない)



この状態になったら  
ゲームスタート

Aさん



手 7枚 (自分は見てよい。  
他の人には見せない)

遊び方の流れ (Aさん①)

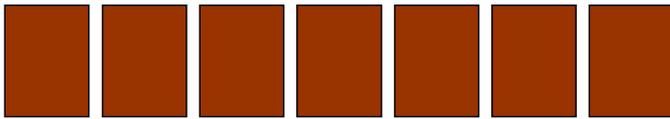
6

<花合わせ 1>

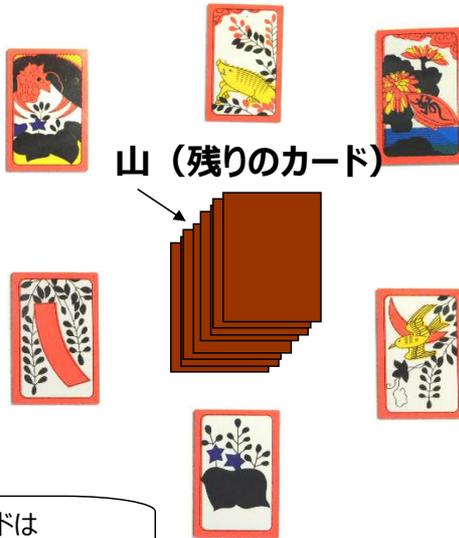
Bさん



手 7枚



場 6枚  
(みんな見える)



山 (残りのカード)

Cさん



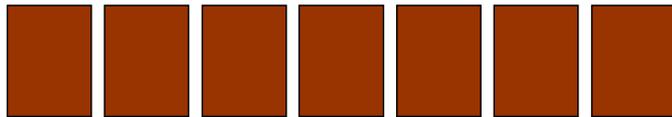
手 7枚



①カードを配った直後の状態。  
(とりあえず順番はじゃんけん  
で決めましょう)  
手のカードを確認します。

場と同じ種類の花のカードは  
手にあるかな？

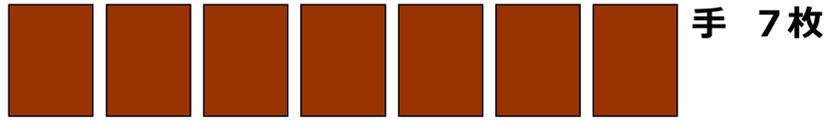
Aさん



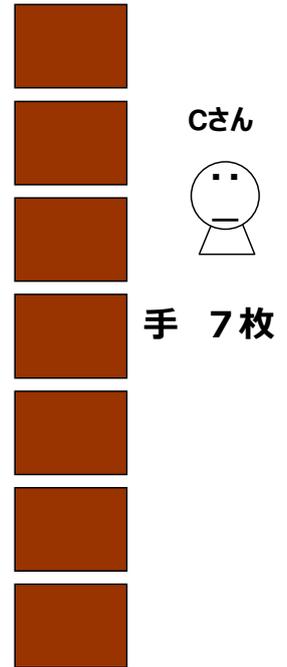
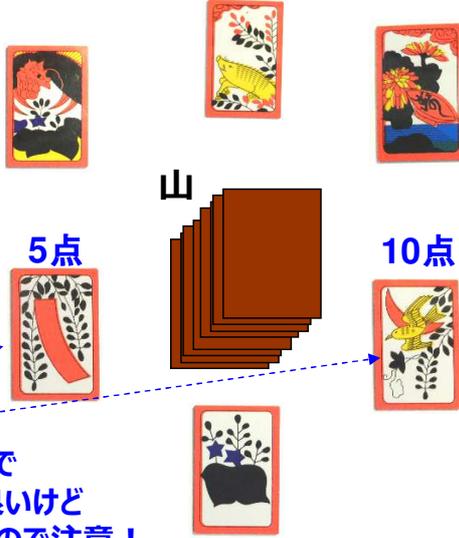
手 7枚 (自分は見てよい。  
他の人には見せない)

遊び方の流れ (Aさん②)

<花合わせ 1>



場 6枚  
(みんな見れる)



②自分の手のカードに、  
場と同じ種類の花の  
カードがあったよ！  
(複数あった場合は好きな  
カードを1枚選びます)

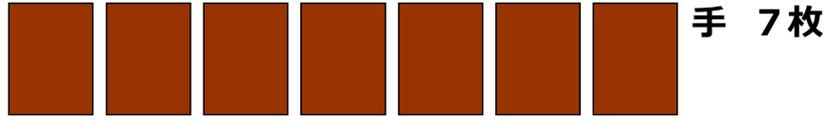


同じ花なので  
どちらでも良いけど  
点数が違うので注意！

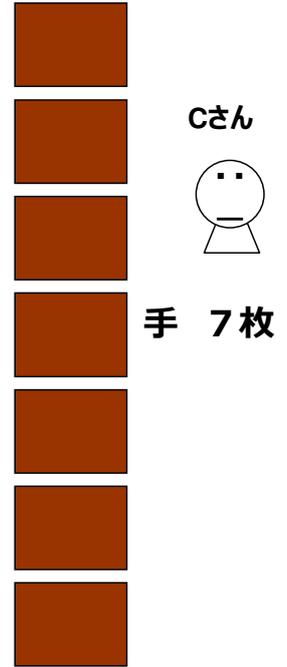
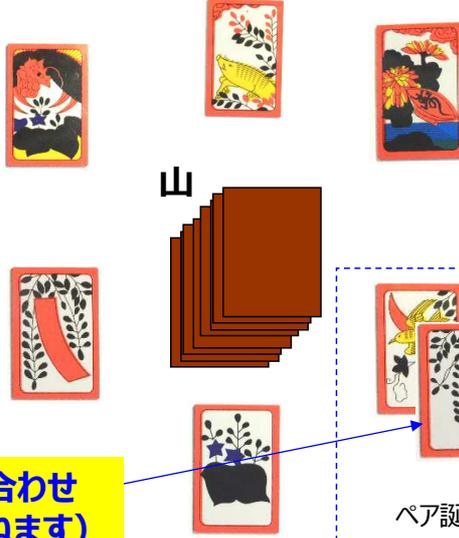
手 7枚 (自分は見てよい。  
他の人には見せない)

遊び方の流れ (Aさん③)

<花合わせ 1>



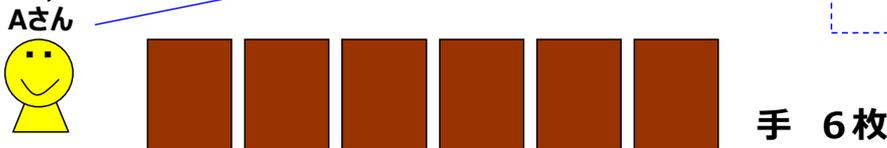
場



点数が高い方  
とペアにして  
みよう！

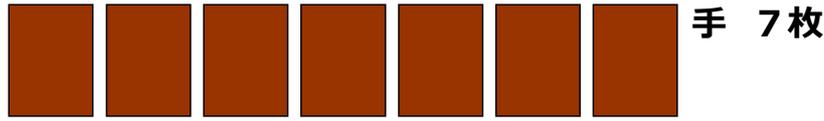
③花合わせ  
(重ねます)

ペア誕生！

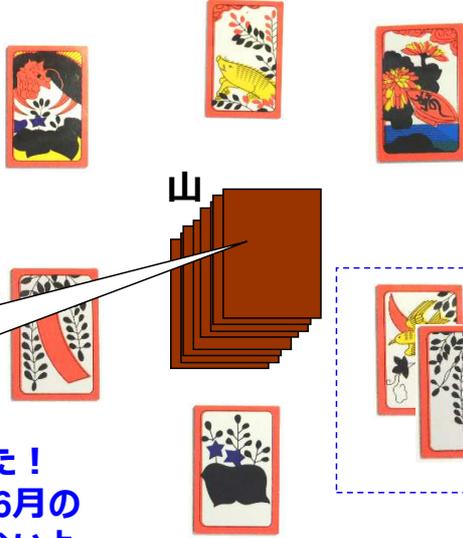


遊び方の流れ (Aさん④)

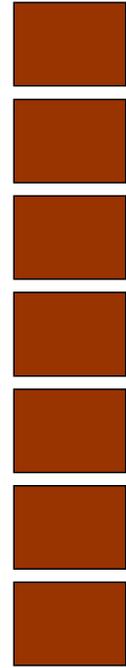
<花合わせ2>



場



山



Cさん



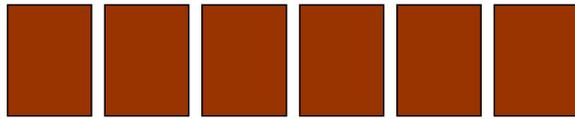
手 7枚

④つぎに、山の一番上から1枚めくって…!



あ！蝶がでた！  
だけど、場に6月の「ぼたん」がないよ…

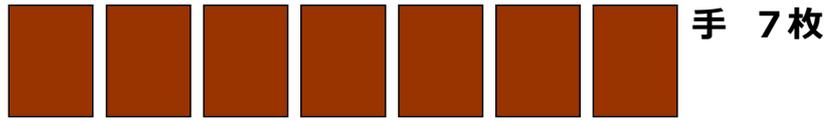
Aさん



手 6枚

遊び方の流れ (Aさん⑤)

<花合わせ2>



場



山



Cさん



手 7枚

⑤場に捨てます

蝶を捨てるのはもったいないけど…今回は同じ種類のカードが場にないので、捨てることになります。

もし、同じ花のカードがあれば、花合わせて持って帰れます



場のカードになります。

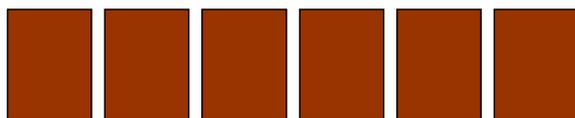
⑥重ねたカードは持って帰ります



10点 0点

持って帰ったカードは、もう使えません。手のカードと混ざらないように注意しましょう

Aさん

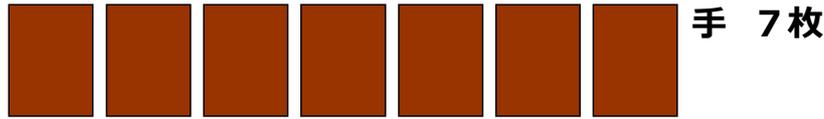


遊び方の流れ (Bさん①)

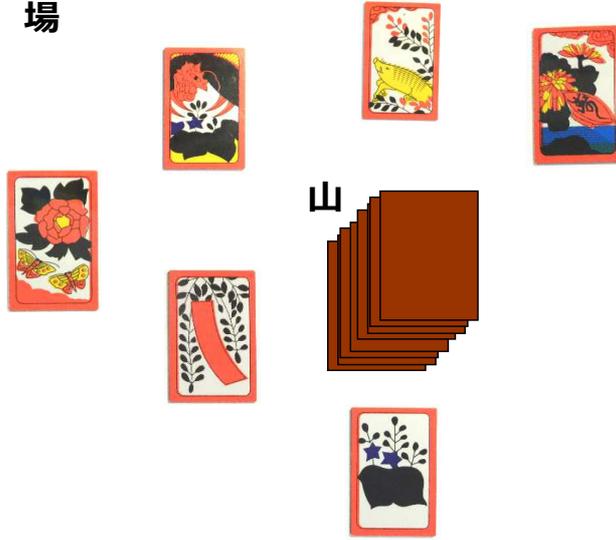
<花合わせ 1>



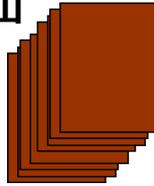
①つぎはBさんの番です



場



山

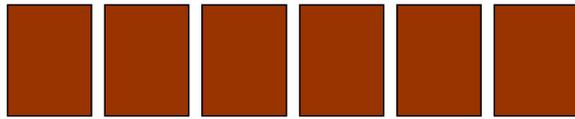


Cさん



手 7枚

Aさん



10点 0点

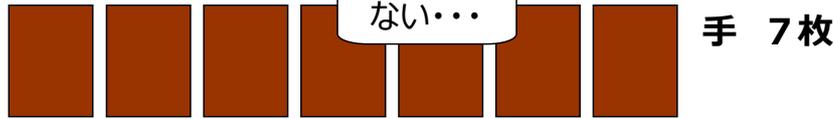
Aさんが  
持って帰ったカード  
(みんなに見せる)

遊び方の流れ (Bさん②)

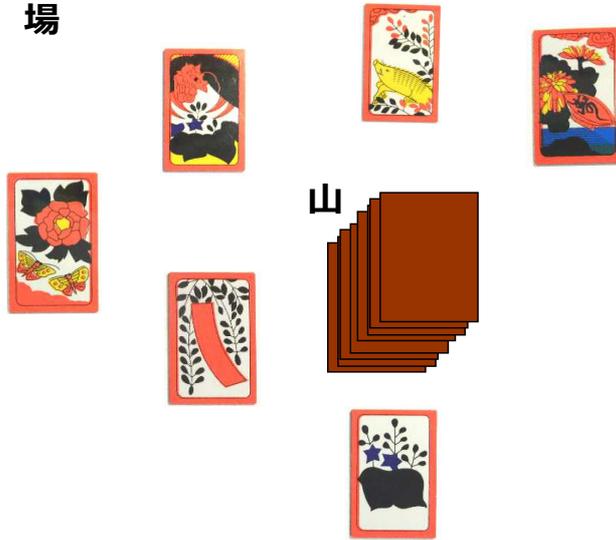
<花合わせ 1>



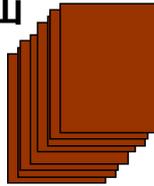
②手のカードに、場と同じ種類の  
花のカードが1枚も無い...



場



山

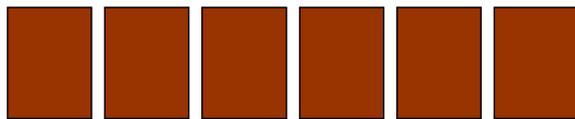


Cさん



手 7枚

Aさん



10点 0点

Aさんが  
持って帰ったカード  
(みんなに見せる)

遊び方の流れ (Bさん③)

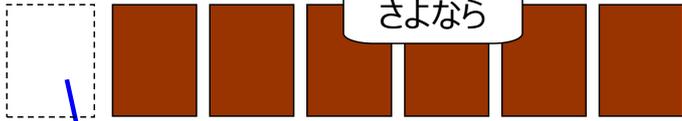
<花合わせ 1>

③手のカードから、どれか1枚選んで場に捨てます



さよなら

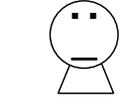
手 6枚



場

山

Cさん

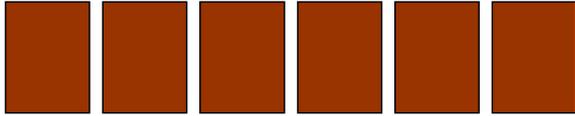


手 7枚



場のカードになります。  
※ただし「鬼」は捨てられません

Aさん



10点 0点

Aさんが  
持って帰ったカード  
(みんなに見せる)

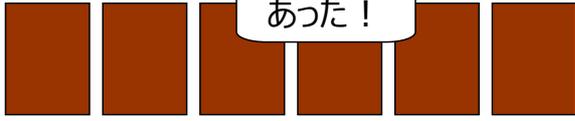
遊び方の流れ (Bさん④)

<花合わせ 2>

④つぎに、山の一番上から1枚めくって…!



あった!



場

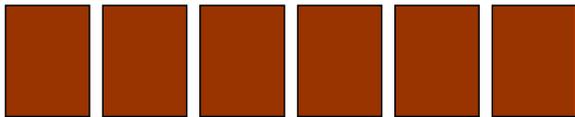
山

Cさん



同じ絵 (花)  
が場にあった!

Aさん

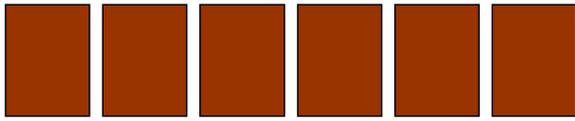


10点 0点

Aさんが  
持って帰ったカード  
(みんなに見せる)

遊び方の流れ (Bさん⑤)

<花合わせ2>



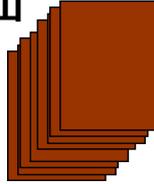
⑤花合わせ (重ねます)



場



山



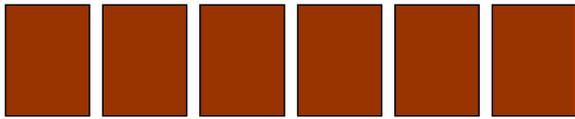
Cさん



手 7枚



Aさん

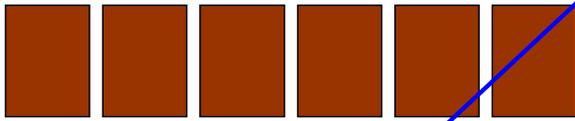


10点 0点

Aさんが 持って帰ったカード (みんなに見せる)

遊び方の流れ (Bさん⑥)

<花合わせ2>



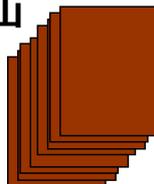
⑥重ねた カードは 持って 帰ります



場



山



次は僕だね

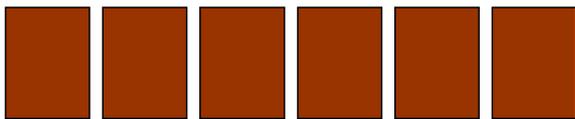
Cさん



手 7枚



Aさん



10点 0点

Aさんが 持って帰ったカード (みんなに見せる)

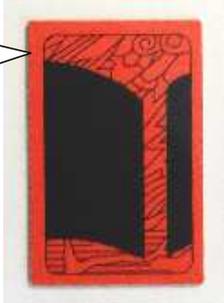


0点 10点

Bさんが 持って帰ったカード (みんなに見せる)

トランプのジョーカーのような「鬼」カードが花札をおもしろくします

食っちゃうぞ！  
柳(雨)以外



●手のカードに「鬼」が入っていた場合・・・ラッキー！  
＜花合わせ 1＞の時に、「鬼」は、好きな「場」のカードと「花合わせ」ができます。

●山からめくったカードが「鬼」の場合・・・ラッキー！  
＜花合わせ 2＞で、「山」からカードをめくったときに、「鬼」が出た場合、好きな「場」のカードと「花合わせ」ができます。

●ゲーム開始時、最初に配った時に、場に「鬼」が出た場合・・・ちょっと違うスタート  
ゲームの開始前に、配った人が「山」から1枚めくって（全員見ない）、鬼にかぶせます。＜次ページ参照＞

そして、ゲームをスタートして、一番最初のだけ

- ①＜1回目の花合わせ＞「手のカード」と「場のカード」の絵合わせ ⇒ 通常通り行う
  - ②＜2回目の花合わせ＞「山からめくった1枚」と「場のカード」の絵合わせ ⇒ やらない！！
- 通常ならば、「山」から1枚めくるのですが、ゲームの最初の場に「鬼」が出た場合、**「山」から1枚めくらずに、「鬼にかぶせたカード」と「鬼」の2枚を持って帰ります。**

※注意※ 鬼と同じ「11月（柳・雨）のカード」とは「花合わせできません」仲間なので食わないのです！  
※注意※ 鬼は場に捨てられません！

## 最初の配り方（鬼が場に出た場合）



※次の人からはいつも通りのルールです

## <ゲームが終了したら>

- 「場」に残ったカード（通常2枚残ります）
  - …鬼が食った”片割れ”のカード → 「鬼」を使った人がもらえます！！
  - …柳（雨）のカード → 「柳（雨）」を持っている人がもらえます！！
- ゲームが終了したら、各自、持って帰ったカード（取得した札）に「役」があるかを確認します。

## <役ができている場合>

- 役ができた場合、その役の点数分のカードを、それぞれ他の参加者からもらいます。（もし、役でもらったカードで新たに役ができたとしても、それは役にはなりません）
- 複数の役ができた場合は、その合計点数を他の2名からもらいます。
- その後、各自、点数を数えます。

## 役一覧

持って帰ったカードの組み合わせで「役」ができていないかチェックしよう！

猪鹿蝶  
(いのしかちょう)

役30点



赤たん（無地）

役20点



月見で一杯

役10点



赤たん（文字）

役20点



花見で一杯

役10点



青たん

役20点



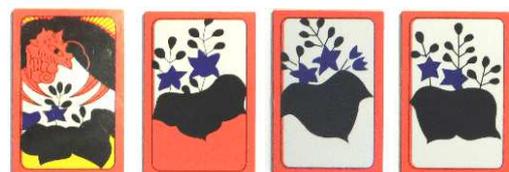
藤いっぱい

役10点



桐いっぱい

役10点



子供向けルールなので、役は限定しており  
点数も分かりやすくしています

※「フケ」「カス13枚」「雨4枚で役無効」  
などは、今回は採用しません。

# 点数一覧

	1月 まつ 松	2月 うめ 梅	3月 さくら 桜	4月 ふじ 藤	5月 あやめ 菖蒲	6月 ぼたん 牡丹	7月 はぎ 萩	8月 すずき 芒	9月 きく 菊	10月 もみじ 紅葉	11月 やなぎ 柳	12月 きり 桐
20点												
10点												
5点												
0点												
0点												

鬼

# 得点表

名前			
1回戦	点	点	点
2回戦	点	点	点
3回戦	点	点	点
4回戦	点	点	点
合計	点	点	点

名前			
1回戦	点	点	点
2回戦	点	点	点
3回戦	点	点	点
4回戦	点	点	点
合計	点	点	点